

博士

企業

未来の社会に

博士の力を。



新たな
キャリアパスの
可能性と出会う!

博士への
多様な期待を
知る!

研究の活かし方の
ヒントが得られる!

今年も対面開催!

2023年8月23日(水) 10:00~17:30

博士後期課程学生・ポストドクターのための

第13回

企業と博士人材の交流会

PRセッション 7月~9月

交流セッション 8月23日(水)



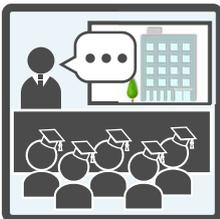
特設サイト「[企業と博士人材のPRサイト](#)」に、研究や自分自身をPRする動画画（必須）や、ポスター、自己PR書等をアップロードします。参加企業の担当者が期間中に閲覧します。参加企業もPR動画や企業案内資料、イベントチラシ等をサイトに上げます。参加申込みをした博士人材は、期間中自由に閲覧できます。

会場 名古屋大学 東山キャンパス



10:00~12:00 博士人材のポスター発表

企業の方に向けてポスター発表を行います。動画では伝えきれなかった研究の魅力や面白さを存分にプレゼンしてください。



13:00~17:30 合同企業説明会

全参加企業の2分間プレゼンの後、各企業ブースに分かれて企業説明会を行います。思いがけない企業との出会いのチャンスです。

----- 参加企業情報は2023年7月中旬より、随時ホームページでご案内します! -----

対象

日本国内の大学や研究機関に所属する
博士後期課程学生・ポスドク・特任助教
●名古屋大学融合フロンティアフェローは必須のイベントです

※詳細は5/31開催の事前説明会に参加してください。
裏面のQ&Aをチェック!

参加方法

HPより申し込みください
https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/events/kouryukai20223_01/

申込締切 6月30日(金)



本交流会では、博士人材に注目している企業の方と直接お話することができます。多種多様な企業の業務や研究内容、企業が博士人材に求めることや期待することなどを理解するよい機会でもあり、“自分ができることや自分がやりたいことを伝えられる場”でもあります。また、この場でしか得られない情報を得ることができます。

企業への就職を考えている方だけでなく、来年度以降の就職に役立つ情報を得たい方、アカデミックで研究を続けていくことを考えている方も大歓迎です。

博士人材に着目している企業の研究開発担当者や人事担当者にあなただの研究の面白さとあなた自身をあなたなりの方法でアピールしてみませんか？

スケジュール

① エントリー

☑ 研究概要提出 **6/30**まで

研究概要（日本語で200字以内）を提出。

② PRセッション@企業と博士人材のPRサイト（オンデマンド）

☑ プロフィールの編集・公開 **7/31**まで

PRサイトに、PR動画（必須）や研究紹介・自己PR資料をアップロードし、プロフィールを編集する。編集が終わったら、プロフィールを公開。

☑ 企業プロフィールの閲覧 **8/1**から

PRサイトに公開された参加企業のプロフィールをチェック！
※7月中旬から順次公開予定

③ 交流セッション@名古屋大学東山キャンパス **8/23**

☑ 博士人材のポスター発表 **午前**

☑ 合同企業説明会 **午後**

- ・企業2分間プレゼン
- ・企業ブーストーク



博士人材のポスター発表



企業2分間プレゼン



企業ブーストーク

Q & A

Q. とても興味があります！もう少し詳しい説明が聞きたいです。

A. 5月31日（水）12時より、本イベントの事前説明会をオンラインで開催します。参加申込をした方、これから申し込む予定の方、申し込もうか迷っている方、どなたでも参加できます。是非ご参加ください！
※参加予約はこちら>>https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/events/kouryukai2023_02/

Q. PR動画の作り方って、どうすればいいですか？

A. 1~3分のPR動画を作成してください。キャリア教育室では、PR動画の作り方やプレゼンのコツを学ぶセミナーを開催します。是非ご参加ください。
※詳細はこちら>><https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/information/2023/>

Q. どんな企業が、何社くらい参加しますか？

A. 例年30~50社、大手から中小、ベンチャーまで博士人材を欲する様々な業種の企業が参加しています。今年度の参加企業を現在募集中です。決まり次第HPでお知らせします。
※昨年度の様子ははこちら>><https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/kouryukai/report2022/>

Q. プレゼンは日本語ですか？英語でもOKですか？

A. 留学生のみなさんにも、日本語での発表をお勧めします。日本企業は、日本語のできる留学生を欲しています。日本語に自信がない場合は、名古屋大学で開講されている日本語を学ぶ講座があります。これから1年間日本語を勉強し、次年度の参加をお勧めします。
※日本語講座はこちら>><https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/lecture/07-2/>

2023年

8/23

企業と博士人材の交流会の **ここがおススメ!****おススメ①**

新たなキャリアパスの
可能性と出会える!

おススメ②

研究の活かし方の
ヒントが得られる!

おススメ③

博士への多種多様な
期待を知る!

普通に過ごしていると、研究室の先輩の就職先や共同研究している企業の情報がふれることがなかったので、ここに参加していないとみえない業界を知りました。

学会と違いどういう研究アピールをするのか、本格的に就活が始まる前に整理する大切な機会になると思います。

人事の方から質問をしてもらえるので、面接の練習になります。自分のアピールポイントと人事が魅力に感じるギャップを知ることができます。

自分が関心のある業界だけでなく、幅広く企業を見ることで、視野が大きく広がり納得のいく企業選び・キャリア選択ができると思います。

専門分野が異なる企業の方々に自分の研究をわかりやすく伝える難しさを実感することができ、今後の研究発表に対するモチベーションにつながりました。また、普段は研究室内の学生・先生方が注目しない点に関して質問やアドバイスを頂けるため、今後の研究の参考にもすることができました。

企業が博士人材に求める能力と博士側が企業に求める環境とのすり合わせが丁寧にできて大変よかった。特に、対応いただける社員の方の中に技術者が多く、より精緻なマッチングができて大変有意義な機会であった。

交流会に参加し、自身の発表を聞きに来てくださった企業に内定をいただきました。本選考の面接の後、交流会の時よりも良い発表だったと言っていた嬉しかったです。

通常の合同説明会と同じような「企業側の話聞いて学生と質疑応答する」という形式のものは各種就活メディアでも頻繁に行われていると思うが、「自らの研究内容を企業にアピールする」という経験を、比較的早期に行えるのは他のイベントにない大きな強みだと感じた。

企業の研究者の方と自分の研究についてディスカッションできたことはよかった。アカデミック外の方と深くディスカッションする機会はほとんどないと思うので良い経験になった。

アカデミックを志望している文系ですが、普段の研究発表とは異なる場でお話することで、自分の研究について新しい観点から考えることができました。企業の方にどのようなコメントをいただけるだろうかと少し不安もありましたが、皆様興味深く聞いてくださり、ご質問もいただけて、大変良い機会となりました。特に、意外な企業の方から研究内容を活かせる可能性についてお話をいただき、研究を続けていく上での励みになりました。現在、企業への就職を考えていなくても、交流会の趣旨を理解してプレゼンをすれば自分のためになることが多いと思います。

